

平成29年11月14日

那珂市長 海野 徹 様

那珂市総合開発審議会  
会長 砂金 祐年

## 第2次那珂市総合計画基本計画について（答申）

平成29年8月4日付け那政第117号で本審議会に諮問のあった第2次那珂市総合計画基本計画について、慎重に審議した結果、おおむね妥当であると認め、下記の意見を付して答申します。

なお、市長におかれましては、本計画を速やかに決定するとともに、本計画の趣旨や内容を広く市民に周知し、目指すべき市の将来像として掲げた「人と地域が輝く 安心・安全な住みよいまち」の実現に向け、鋭意努力されますよう要望します。

### 記

- 1 人口減少や高齢化が進む中においても、地域住民が交流を深めながら、互いに支え合い、安心して暮らすことができるように、市民自治組織と連携・協力し、地域コミュニティの充実を図ること。
- 2 本市が持つ「住みよさ」の更なる向上を図るため、国や県の助成制度を有効に活用し、道路や下水道など生活基盤の整備を着実に進めるとともに、ユニバーサルデザインの考え方を念頭におきながら、バリアフリーの推進や防犯・防災対策の充実に努め、誰もが快適で安全に暮らすことができる環境を整えること。
- 3 市民一人ひとりが環境問題を自らの課題としてとらえ、身近なことから活動・実践することができるように、市民意識の高揚を図るとともに、市民・市民自治組織・市民活動団体・事業者などとの協働の下、温室効果ガスの排出総量削減やごみの減量・再資源化、不法投棄の監視活動などの取組を一層推進すること。
- 4 家族形態や就労形態が多様化する中で、妊娠・出産・子育ての期間を通して切れ目のない支援を行うことができるように、子育て世代包括支援センターを整備するなど、相談体制の充実に努めること。
- 5 市の未来を担う子どもたちの自主性・自立性を育むためには、就学前教育が重要な要素の一つとなることから、幼児教育・保育の充実を図るとともに、小学校教育との連携及び円滑な接続を推進すること。
- 6 本計画の推進に当たっては、行政評価システムを活用し、着実な進行管理を行うとともに、最小の経費で最大の効果をあげる行政経営の視点に立ち、施策や事務事業の改革・改善に努めること。